

市区町村名	茨城県石岡市	担当部署	市長公室 行革推進課
		電話番号	(0299) 23-1111 内 411

1 取組事例名

職員インタビュー～職場・改善・ハッケン！！～

2 取組期間

平成 28 年度～（継続中）

3 取組概要

主任・係長級の職員を対象として、職場の創意工夫・事務改善・職場改善の取組み事例について、インタビューを行い、『行革 News！！』※に紹介します。この紹介により、全庁的な情報共有を図り、職員の自発的な事務改善につなげていきます。

※「行革 News！！」は、市内外を含む行革に関するニュースを月 1 回程度、庁内グループウェアに掲載し、行革に対する職員全体の意識づくりを目的としています。

4 背景・目的

職員インタビューは、庁内コミュニケーションを図るために以下の目的より実施しています。

- ① 毎月発行の「行革 News！！」に活用。
- ② 各課の事務改善等の取組みについて全庁の情報共有を行う。
- ③ 意識せずに取り組んでいる事例等を紹介。

5 取組の具体的内容

(1) 質問の内容

職員インタビューをする際の主な質問内容は以下のとおりです。

内 容	意 図
(課・担当で1番大変なこと) Q1:課の仕事の中で、1番大変なことを教えてください。	・課の課題を把握することになります。
(その大変なことについての取組み) Q2-①:1番大変だと思うことについて、取組みや対策をとっていますか。その事例を教えてください。 Q2-②:(もし、取組みが未実施だった場合)取組みが未実施でしたら、これから何か改善をしようと思っている考えはありますか。教えてください。	・課の取組み事例について把握することになり、もし取組みをしていない場合でも、これから職員が講じていこうと思っている改善策について把握することになります。
(市役所全体で改善すべきこと) Q3:Q1・Q2 で質問したことに関連して、市役所全体として考えたときに、改善できることや創意工夫ができるものを教えてください。	・Q1 と Q2 で聞いた大変なことについてその取組みや改善策が全体を見たときに汎用性(他課で参考にできるか等)があるのかを把握します。 ・「行革 News！！」に掲載する目的は、課の改善取組みを他の課へ情報共有を図ることなので、この質問を行います。

(2) 準備からインタビュー実施後までの流れ

① インタビューの依頼



② インタビューの実施



③ 『行革News!!』の記事にして公表

(3) 『行革News!!』の職員インタビューの記事

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

取組の独自性は、内容が事務改善や職場改善に特化している点です。所属課・担当でなにが一番大変なのかを聞き出し、課の中での取り組み事例や意識していないで取り組んでいたことを市役所全体に活かしていき、ひいては職員の自発的な事務改善や執務環境改善につなげていきます。

7 取組の効果・費用

各課の取組事例などを紹介することで、庁内コミュニケーションの一助になっていることです。特に、職員が他の課のことについて知ることになるので、横のつながりを生むきっかけづくりになっています。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

事務改善は、各課が抱えている課題などマイナス部分なので、それを聞き出すことが苦勞した点です。また、課題などのマイナス部分について記事にする際には、対象課への考慮もしなければならず、言葉の表現に気を付けたことです。

9 今後の予定・構想

今後は、インタビューを実施していく中で、事務改善・職場改善につながるものがあれば、市役所全体に活かしていく仕組みづくりを検討しています。

10 他団体へのアドバイス

庁内コミュニケーションを図るためには、実際に人と人の対話が重要だと考えています。職員同士が直接会って、話を聞き、意見を交わす、そして、その内容を記事にして「生の声」を職員全員で共有することで、組織の中に他の課を知るなどの横のつながりが生まれ、職員全体で事務改善や執務環境改善について考えるきっかけづくりになると考えています。